



平成 23 年 5 月 26 日

各 位

会 社 名 東邦化学工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 中崎 龍雄  
(コード番号 4409 東証第 2 部)  
問合せ先 取締役経理本部長 井上 豊  
( TEL 03 - 5550 - 3735 )

(訂正・数値データ訂正あり)

「平成 23 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

平成 23 年 5 月 12 日に公表いたしました「平成 23 年 3 月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容につきまして、下記のとおり一部訂正がありましたのでお知らせします。なお、訂正箇所には下線(      )を付して表示しております。

また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データも送信致します。

## 記

### 【訂正箇所】

#### (1) サマリー情報

平成 23 年 3 月期の連結業績(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

#### (2) 3、4 ページ

##### 1. 経営成績

#### (2) 財務状態に関する分析

キャッシュ・フローの状況

#### (3) 14 ページ

##### 4. 連結財務諸表

#### (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正箇所(1) サマリー情報】

1. 平成23年3月期の連結業績(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

《訂正前》

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
23年3月期	<u>1,327</u>	<u>1,702</u>	1,042	4,294
22年3月期	3,641	2,375	516	3,659

《訂正後》

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
23年3月期	<u>1,345</u>	<u>1,721</u>	1,042	4,294
22年3月期	3,641	2,375	516	3,659

【訂正箇所(2)3、4ページ】

1. 経営成績

(2) 財務状態に関する分析

キャッシュ・フローの状況

《訂正前》

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローは、営業活動により13億27百万円の増加、投資活動により17億2百万円の減少、財務活動により10億42百万円の増加となり、その結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前期比6億34百万円増加し42億94百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は13億27百万円の収入(前期比23億14百万円、63.6%の収入減)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益10億36百万円、減価償却費16億63百万円等の資金の増加と、売掛債権の増加13億47百万円等の資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は17億2百万円の支出(前期比6億72百万円、28.3%の支出減)。これは主に有形固定資産の取得による支出16億80百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は10億42百万円の収入となりました(前期比5億25百万円、101.9%の収入増)。これは主に社債の発行による収入17億65百万円等によるものです。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

	71期 平成20年3月期	72期 平成21年3月期	73期 平成22年3月期	74期 平成23年3月期
自己資本比率(%)	20.2	19.8	21.1	20.9
時価ベースの自己資本比率(%)	14.0	16.7	15.4	15.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	8.2	79.9	4.6	13.7
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	6.4	0.7	11.7	4.4

(注1)

- ・自己資本比率：自己資本÷総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額÷総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債÷キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー÷支払利息

(注2)

- ・各指標は連結ベースの財務数値により計算しております。
- ・株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
- ・キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
- ・有利子負債は連結貸借対照表に計上されている社債・借入金の合計額を対象としております。
- ・支払利息は連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

《訂正後》

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローは、営業活動により13億45百万円の増加、投資活動により17億21百万円の減少、財務活動により10億42百万円の増加となり、その結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期比6億34百万円増加し42億94百万円となりました。

当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は13億45百万円の収入（前期比22億95百万円、63.0%の収入減）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益10億36百万円、減価償却費16億63百万円等の資金の増加と、売掛債権の増加13億47百万円等の資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は17億21百万円の支出（前期比6億53百万円、27.5%の支出減）。これは主に有形固定資産の取得による支出16億99百万円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は10億42百万円の収入となりました（前期比5億25百万円、101.9%の収入増）。これは主に社債の発行による収入17億65百万円等によるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	71期 平成20年3月期	72期 平成21年3月期	73期 平成22年3月期	74期 平成23年3月期
自己資本比率（%）	20.2	19.8	21.1	20.9
時価ベースの自己資本比率（%）	14.0	16.7	15.4	15.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	8.2	79.9	4.6	13.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	6.4	0.7	11.7	4.5

（注1）

- ・自己資本比率：自己資本÷総資産
- ・時価ベースの自己資本比率：株式時価総額÷総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債÷キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー÷支払利息

（注2）

- ・各指標は連結ベースの財務数値により計算しております。
- ・株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
- ・キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
- ・有利子負債は連結貸借対照表に計上されている社債・借入金の合計額を対象としております。
- ・支払利息は連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

## 【訂正箇所(3)14ページ】

## 4. 連結財務諸表

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

《訂正前》

(単位:百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	自	平成21年4月1日 至 平成22年3月31日)	自	平成22年4月1日 至 平成23年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前当期純利益		1,666		1,036
減価償却費		1,581		1,663
減損損失		32		49
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額		-		15
貸倒引当金の増減額(は減少)		0		1
賞与引当金の増減額(は減少)		195		4
災害損失引当金の増減額(は減少)		-		110
退職給付引当金の増減額(は減少)		136		147
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)		18		14
受取利息及び受取配当金		22		31
支払利息		309		309
投資有価証券売却損益(は益)		-		20
投資有価証券評価損益(は益)		15		43
有形固定資産売却損益(は益)		14		0
有形固定資産廃棄損		93		40
売上債権の増減額(は増加)		1,227		1,347
たな卸資産の増減額(は増加)		701		172
仕入債務の増減額(は減少)		1,670		364
その他		364		188
小計		3,846		2,153
利息及び配当金の受取額		22		31
利息の支払額		309		300
法人税等の支払額又は還付額(は支払)		82		557
営業活動によるキャッシュ・フロー		3,641		1,327
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
定期預金の預入による支出		20		-
有形固定資産の取得による支出		2,329		1,680
有形固定資産の売却による収入		43		0
投資有価証券の取得による支出		23		7
投資有価証券の売却による収入		-		20
その他		46		35
投資活動によるキャッシュ・フロー		2,375		1,702
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の純増減額(は減少)		364		206
長期借入れによる収入		3,150		3,200
長期借入金の返済による支出		2,226		3,227
社債の発行による収入		590		1,765
社債の償還による支出		600		300
リース債務の返済による支出		33		61
配当金の支払額		-		128
その他		0		0
財務活動によるキャッシュ・フロー		516		1,042
現金及び現金同等物に係る換算差額		2		31
現金及び現金同等物の増減額(は減少)		1,784		634
現金及び現金同等物の期首残高		1,844		3,659
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)		30		-
現金及び現金同等物の期末残高		3,659		4,294

《訂正後》

(単位：百万円)

	前連結会計年度		当連結会計年度	
	(自 平成21年 4月 1日 至 平成22年 3月31日)		(自 平成22年 4月 1日 至 平成23年 3月31日)	
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
税金等調整前当期純利益	1,666		1,036	
減価償却費	1,581		1,663	
減損損失	32		49	
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-		15	
貸倒引当金の増減額(は減少)	0		1	
賞与引当金の増減額(は減少)	195		4	
災害損失引当金の増減額(は減少)	-		110	
退職給付引当金の増減額(は減少)	136		147	
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	18		14	
受取利息及び受取配当金	22		31	
支払利息	309		309	
投資有価証券売却損益(は益)	-		20	
投資有価証券評価損益(は益)	15		43	
有形固定資産売却損益(は益)	14		0	
有形固定資産廃棄損	93		40	
売上債権の増減額(は増加)	1,227		1,347	
たな卸資産の増減額(は増加)	701		172	
仕入債務の増減額(は減少)	1,670		364	
その他	364		206	
小計	3,846		2,172	
利息及び配当金の受取額	22		31	
利息の支払額	309		300	
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	82		557	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,641		1,345	
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
定期預金の預入による支出	20		-	
有形固定資産の取得による支出	2,329		1,699	
有形固定資産の売却による収入	43		0	
投資有価証券の取得による支出	23		7	
投資有価証券の売却による収入	-		20	
その他	46		35	
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,375		1,721	
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
短期借入金の純増減額(は減少)	364		206	
長期借入れによる収入	3,150		3,200	
長期借入金の返済による支出	2,226		3,227	
社債の発行による収入	590		1,765	
社債の償還による支出	600		300	
リース債務の返済による支出	33		61	
配当金の支払額	-		128	
その他	0		0	
財務活動によるキャッシュ・フロー	516		1,042	
現金及び現金同等物に係る換算差額	2		31	
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,784		634	
現金及び現金同等物の期首残高	1,844		3,659	
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(は減少)	30		-	
現金及び現金同等物の期末残高	3,659		4,294	